

歯や口に関心をもち、生涯にわたって自分の体を大切にする子どもの育成

新潟県新潟市立新飯田小学校

本校は、全校児童83名の小規模校である。新潟市の最南端に位置し、信濃川と中ノ口川に囲まれた昔ながらの農業地域である。学校行事などでは、地域とのつながりも強い。二世帯同居の家庭も多く、家族の目がよく行き届いている。このような環境の中で、児童は素直に健やかに育っている。歯と口の健康を含めた生活習慣の改善や向上には家庭の力が不可欠である。これまで以上に家庭と協力し、児童自身が歯と口をきっかけに自分の体や健康の大切さについて知り、生涯にわたって自分で自分の体を守っていける力を身につけさせたいと考え、本主題を設定した。

キャッチフレーズ

「よい歯・よい顔・新飯田の子 白い歯輝く83の笑顔」

歯を中心に望ましい生活習慣を身につけ、健康な心と体でいきいき学びのびのび生きる子をイメージしている。

〈実施内容〉

(1) 歯みがきの習慣化を目指した取り組み

毎日の給食後の歯みがきは、音楽に合わせて学級一斉に行っている。

また、縦割り班交流歯みがき週間（歯ッピー歯みがき週間）には、縦割り班ごとに集まり歯みがきを行う。ペアになって歯ブラシチェックをし、高学年からみがき方をみてもらったり、低学年の歯みがきの様子をみながら自分のみがき方を確認したりする。さらに、児童の歯に対する意識を高めるため、新飯田小オリジナルの歯のキャラクターを募集し、多くの応募の中から決定した。



(2) 歯の授業の実施、「歯のインストラクター認定制度」実施

むし歯や歯肉炎の予防方法の理解と実践（6月）、歯と口の健康に関わる食生活の理解（9月～11月）を目的として歯の授業を行った。歯の授業後には、3～6年生に授業の内容を振り返らせるミニテストと歯のみがき方の実技テストを行った。このテストを「歯のインストラクター認定制度」と称し、合格した人に「歯のインストラクター」の称号を渡した。

新飯田小学校
歯のキャラクター

はみがキングくん
と ぴかりん



(3) 「お口カルテ」作成、「歯のカウンセリング」実施

歯科健康診断の結果から一人一人の「お口カルテ」を作成し、口の中の様子を表した。さらに「お口カルテ」を活用して、全校児童に「歯のカウンセリング」を学校歯科医・歯科衛生士の方から行ってもらい、自分のどこにむし歯があるのか、どうやってみがいたらよいか、など個別に指導していただいた。



(4) 児童保健委員会の活動

むし歯予防週間においては、歯みがきカード作成と歯の知識を問う縦割り班対抗のオリエンテーリングを実施した。夏休みの歯みがきカレンダー集計から毎日3回歯みがきをした人の表彰、新飯田小歯のキャラクターの表彰を行った。また、清潔な歯ブラシの保管を目的に歯ブラシケースの消毒を行っている。

(5) 家族一緒に歯みがきの呼びかけ

児童の歯のみがき方を保護者に確認してもらい、歯みがきを楽しく行ってもらうことを目的として、家族一緒に歯みがきを呼びかけた。「家族一緒に歯みがきカード」には、感想の他に家族と一緒に歯みがきをしている絵を書いてももらったり、写真を貼ってもらったりした。

(6) 学校保健委員会の開催

第1回学校保健委員会では、児童の実態・学校での取り組みを紹介し、学校医、学校歯科医、地域保健師、PTA役員との意見交換を行った。第2回目は、1日フリー参観日に開催し、全校児童が参加、5・6年生が今年度の歯科の取り組みについての発表を行った。